

NEWS RELEASE (2021年7月12日リリース) 取材依頼

-外来魚から外来寄生虫見つかる-
九州で初！ 蘭牟田池からヒメイカリムシを発見

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

この度、本学大学院理工学研究科上野大輔准教授らの研究チームは、薩摩川内市蘭牟田池で採集された外来魚カムルチーから外来寄生虫ヒメイカリムシを発見、報告しました。この外来寄生虫は、中国等ユーラシア大陸東部に原産し、カムルチーと共に日本に持ち込まれたと考えられます。日本では、近畿地方周辺に分布することが知られていたものの、九州や四国など南日本に分布するという知見が無かったため、鹿児島県からの初の分布記録として報告し、2021年6月25日付日本甲殻類学会発刊の国際誌 *Crustacean Research* (クラスタシアン・リサーチ) (オンライン版) に掲載されました。

つきましては、是非とも取材・報道いただきますようご案内申し上げます。

研究の詳細につきましては、次ページ以降の資料をご確認下さい。

【問い合わせ先】

■国立大学法人 鹿児島大学大学院 理工学研究科

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-35

理工学研究科・准教授

上野 大輔 (うえの だいすけ)

E-mail: duyeno@sci.kagoshima-u.ac.jp

TEL: 099-285-8167 / 090-9136-8494

蘭牟田池から外来寄生虫ヒメイカリムシを発見

概要

薩摩川内市蘭牟田池から、外来魚カムルチーに寄生する外来寄生虫ヒメイカリムシの分布が新たに報告された。ヒメイカリムシは、ユーラシア大陸東部の中国や韓国に原産するカムルチーの寄生虫である。わが国へは、宿主であるカムルチーと共に移入された外来寄生虫と考えられ、京都、滋賀、岐阜の河川、湖沼への分布は知られていたが、本州外からの記録は無かった。本成果は、九州を含む南日本からのヒメイカリムシの初記録として、鹿児島大学、生態系保存資料館アクアタイム（薩摩川内市）、広島大学の共同チームにより、日本甲殻類学会発刊の国際誌「Crustacean Research」のオンライン版にて、2021年6月25日付けで発表された。

研究体制

この研究は、上野大輔（鹿大院理工学研究科）、富園 正（生態系保存資料館アクアタイム・館長）、大迫良行（同・職員）、長澤和也（広島大学・名誉教授）による共同研究である。富園、大迫が増水時に蘭牟田池から接続する水路へ侵入したカムルチーを採集、上野が寄生虫検査を行い標本の採集、観察から記録を行った。また、淡水魚の寄生虫に詳しい長澤には、主に海外における本種の分布について助言を頂き、議論を行った。

カムルチーとは

タイワンドジョウ科に属する淡水魚で、ライギョとも呼ばれる。ユーラシア大陸東部の中国や韓国などに原産し、日本には1920年代に人為的に移入された国外外来種である。成長すると体長80cm近くにもなり、様々な動物を捕食するために在来の生態系に影響を与えるとされ、県によっては移植が禁止されている。

発見の意義

今回、蘭牟田池のカムルチーの鰓に寄生が認められたヒメイカリムシは、微小な寄生性の甲殻類である（メス4mm、オス1.5mm）。宿主カムルチーと共に、中国や韓国に分布することが知られていた。日本では京都の河川から1930年代に初めて発見された外来寄生虫であり、琵琶湖（滋賀県）や木曾川（岐阜県）からも後に発見されたが、それ以降の報告は無かった。今回の蘭牟田池からの発見は、九州を含む南日本にもヒメイカリムシが広く分布する可能性を示すものである。今のところ、国内では在来魚をはじめ他の魚類への寄生は確認されていない。また、外来魚は在来魚を直接捕食して駆逐するだけでなく、外来寄生虫の導入をも引きおこす事実も示している。世界各国の魚類を容易に入手、飼育ができる現在、故意の放流は勿論の事ながら、不慮の逸出も避けることの必要性を問う発見である。また、鹿児島市からもほど近い蘭牟田池はラムサール条約登録湿地であり、希少なベッコウトンボの生息地としても有名で、良好な自然環境が整った場所である。この貴重な自然環境を後世に引き継げるよう、注意を払って行きたい。

発表論文

Daisuke Uyeno, Tadashi Tomizono, Yoshiyuki Osako & Kazuya Nagasawa. 2021. *Lamproglena chinensis* Yü, 1937 (Copepoda: Cyclopoida: Lernaeidae), a gill parasite of the snakehead *Channa argus* (Cantor), from Kyushu, Japan, with an observation of the type specimens of *L. ophioccephali* Yamaguti, 1939. *Crustacean Research* 50: 75–86.

参考図 鹿児島大学上野大輔提供

蘭牟田池のカムルチーの鰓から発見されたヒメイカリムシの雌成体、体長約4 mm。左右に伸びる紐は沢山の卵が詰まる卵嚢。

